

調査実施要領にありますように、本調査結果は、学力や学習状況の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面ではありますが、学校として以下の結果について真摯に受け止め、子どもたちの学力並びに学習意欲の向上に努めてまいりますので、保護者のみなさんのご理解ご協力を頂きますよう、よろしくお願いいたします。

【学力状況調査】 <学習指導要領の領域の平均正答率の状況>

【 国 語 】	【 算 数 ・ 数 学 】	【 理 科 】																																			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="width: 45%;"> <p>A(基本)</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>B(応用)</p> </div> </div> <p>全体的な状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語A・Bを通して無答率は低かったです。粘り強く問題に向き合いました。国語Bについては全国平均を上回りましたが、基本的な問題である国語Aの正答率が全国平均を下回っています。 <p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応用問題である国語Bにおいて、「話すこと」「聞くこと」「書くこと」「読むこと」すべての領域で正答率が全国平均を上回りました。特に記述式設問に対応できる生徒の割合が多いことも日々の授業の成果だと考えています。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字を正しく書くことに大きな課題が見えました。設問3問とも全国平均を下回っています。特に「アまったお金を貯金する」の問題で、余(った)と正答した率が全国平均から17%低かったです。 <p>課題解決に向けた取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字の「小テスト」を行うことや2年生時から「中学校国語ワークブック」を使って語彙力の向上を図っています。成果が期待されるので、今後も継続していきます。また、ノート点検や作文、ワークシートの回収時に漢字や句の使い方を点検して、返却時にはクラス全体で確認します。 	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="width: 45%;"> <p>A(基本)</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>B(応用)</p> </div> </div> <p>全体的な状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体的には学習指導要領の4観点ともバランスよく解答できています。数学A・Bとも、全国平均を上回りました。今年はB問題の短答式もよくできていました。 <p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計算の順序を問う問題や一次方程式を解く問題では、正答率が全国平均を10%上回っています。また、課題であったA問題の図形領域で改善が見られました。小テスト等を繰り返し行った成果だと考えています。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「数と式」の領域、「資料の活用」はよくできていました。B問題の図形領域の証明問題に課題があると思われます。それは、証明を振り返り新たな性質を見出すことや発展的に条件を変えた場合の証明です。 <p>課題解決に向けた取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の標準時間数の週当たり3時間のところ、2年生時には週当たり4時間の「数学」の時間を配当して取組みを行いました。今年度は3年生で数学の少人数指導を展開して、よりきめ細やかな授業となるよう工夫を行っています。今後は習熟度別学習にも取組み、理解度定着を図っていきます。 	<div style="text-align: center;"> </div> <p>全体的な状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領のどの分野・観点の正答率も全国平均を上回っています。領域別では、物理・化学・生物・地学の4領域とも全国平均より上回っていますが、地学分野は他の3領域に比べると少し弱さがあると思われます。 <p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設問別に見ていくと、物理領域であるオームの法則を使って抵抗値を求める問題では、正答率で全国平均を18%上回りました。化学領域の濃度を求める問題でも14%上回っています。苦手とする中学生が多い中、計算問題の理解定着のため、小(再)テストを繰り返し行った成果と考えられます。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理科に関して見ると、「知識・理解」の関する問題には大きな成果が見られるが、「科学的な思考・表現」に少し弱さが見られます。 <p>課題解決に向けた取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理科の授業では、実験・観察の時間を十分に保障しています。アンケート調査でも、「理科の授業で観察や実験をどのくらい行いましたか」という質問に対し、55%の生徒が週1回以上と回答しており、府11%、全国39%を大きく上回っています。電子黒板を活用した授業も定着しています。今後は、課題としてあげた地学領域について、視覚的に理解を図る手立ても取り入れながら授業を進めていきます。 																																			
<p>【学習状況調査】</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:60%;">状況が良好な主な項目</th> <th style="width:10%;">本校</th> <th style="width:10%;">府</th> <th style="width:10%;">全国</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>授業のほかに、目標(めあて・ねらい)が示されているか</td> <td>88</td> <td>70</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>家で自分で計画を立てて勉強をしていますか</td> <td>54</td> <td>48</td> <td>49</td> </tr> <tr> <td>理科の授業で、観察や実験の結果をもとに考察していますか</td> <td>71</td> <td>54</td> <td>67</td> </tr> </tbody> </table> <p>全体的な状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平日の家庭学習時間について、3時間以上18%、2～3時間は25%と全国平均や大阪府平均を上回っているが、30分以下7%、全くしない7%は全国と同比率となっており、両極化した状況が見えています。 <p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校全体で授業改善に取り組んでいます。各教室に「めあて」と「ふりかえり」カードを常設して、授業の中で生徒がこの時間に何を学ぶかをはっきりとさせ、主体的に取り組めるように工夫をしています。昨年度からの課題であった項目が42%から88%と大きく肯定的に改善されました。 			状況が良好な主な項目	本校	府	全国	授業のほかに、目標(めあて・ねらい)が示されているか	88	70	80	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか	54	48	49	理科の授業で、観察や実験の結果をもとに考察していますか	71	54	67	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:60%;">課題を残した主な項目</th> <th style="width:10%;">本校</th> <th style="width:10%;">府</th> <th style="width:10%;">全国</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自分の考えを他人に説明したり、文章に書くことは難しいと思いますか</td> <td>45</td> <td>36</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>授業で自分の考えを発表する機会が与えられていたか</td> <td>70</td> <td>77</td> <td>86</td> </tr> <tr> <td>毎日朝食を食べていますか(毎日と回答した者)</td> <td>76</td> <td>79</td> <td>84</td> </tr> </tbody> </table> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価方法の工夫と改善に伴い、自分の意見や考えを整理し、授業の中で振り返りシートに記入したり、レポートにまとめたりする機会が増えましたが、発表し合うまでには至っていないケースも見られます。 <p>課題解決に向けた取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業改善を進めていきます。授業時間内で、学習した内容をまとめたり発表したりする機会を多くも工夫を行います。ペア学習や班学習も取り入れながら、主体的に学べるような授業づくりを学校全体で行っていきます。 			課題を残した主な項目	本校	府	全国	自分の考えを他人に説明したり、文章に書くことは難しいと思いますか	45	36	31	授業で自分の考えを発表する機会が与えられていたか	70	77	86	毎日朝食を食べていますか(毎日と回答した者)	76	79	84
状況が良好な主な項目	本校	府	全国																																		
授業のほかに、目標(めあて・ねらい)が示されているか	88	70	80																																		
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか	54	48	49																																		
理科の授業で、観察や実験の結果をもとに考察していますか	71	54	67																																		
課題を残した主な項目	本校	府	全国																																		
自分の考えを他人に説明したり、文章に書くことは難しいと思いますか	45	36	31																																		
授業で自分の考えを発表する機会が与えられていたか	70	77	86																																		
毎日朝食を食べていますか(毎日と回答した者)	76	79	84																																		

○保護者のみなさんへ(全体を通じて)

・各教科の授業改善やよりよい評価方法の作成、学習規律をはじめとする規範意識の醸成など、今後も前向きに取り組むを進めていきます。また、理解定着のためには、家庭学習が大事だと考えています。上記の課題にも記載しましたが、両極化していると思われる。金剛中学校では、家庭学習の手引き及び家庭学習ノートを配布し家庭学習習慣の確立に向けて取り組んでいます。今後も学年×10分(小学校から数えると中1は7年生で70分、中2は80分、中3は90分)は、宿題だけでなく、復習・予習を行うことで授業内容の理解定着につなげていきたいと思っております。学校でも粘り強く指導してまいりますので、ご家庭でも声かけ等よろしくお願いいたします。

・放課後学習会「金剛中まなび舎教室」を開設します。放課後の3:45～4:45の1時間、学生サポーターや本校教員が支援する形で、「自習教室」を開き、生徒の学習意欲向上に努めていきたいと考えています。基本、毎週火・木に行きます。また、テスト前には部活動停止になりますので、1・2年生も参加できる「放課後学習会」を開設していきます。